

岐阜市議会議員 各位

市民参画部長

「みんなの森 ぎふメディアコスモス」本の蔵ガラスひび割れについて

貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また平素より市民参画行政全般につきまして、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

みんなの森 ぎふメディアコスモスの本の蔵ガラスのひび割れを確認したので下記のとおり報告します。つきましては、本日市政記者に資料を提供いたしますのでお知らせいたします。

どうぞよろしくお願いたします。

- 1 時期及び現象 平成27年11月11日メディアコスモス館内に勤務する職員が、本の蔵のガラスにひび割れ1か所を発見し施工者へ連絡。飛散防止フィルムが施されており緊急的な危険性がないことを確認し、原因究明と修繕を指示しました。
- 2 場所 本の蔵 西面北側の大型ガラス
(厚さ12mm 1840mm×4500mm、飛散防止フィルム付)
- 3 原因 当該ガラスは、左右の鉄骨の柱の枠と上下のコンクリート壁の溝にはめ込まれて固定されています。ガラス上部のコンクリート壁は、一般的に時間経過とともに「たわみ」が生じます。(一般的にクリープ現象と呼ばれます)
そのたわみ量は、構造解析によって算出され、その数値を基に溝底とガラスの離れ寸法(エッジクリアランス)を決定しています。
実際のたわみ量は想定範囲内であり構造上の問題はありませんが、一部の溝底の深さが不足していたことから、コンクリートがガラスを押し、ガラスにひびが入ったと考えます。
- 4 補修 ガラスを撤去した後溝底の不具合を改修し、エッジクリアランスを確保した上で、新しいガラスに交換しました。また、割れていないガラスについても全数エッジクリアランス寸法の測定を行い、同様の不具合があった1枚(西面南側)を、交換しました。
(合計2枚のガラスを交換。H28.4.26補修完了。費用については施工者が負担。)
- 5 今後の対応 コンクリートのクリープによるたわみの進行については、発見後継続的に計測しておりますが、その値に変化はみられず、クリープによるたわみは収束しているものと考えられます。
今後も定期的な計測と目視点検は継続していきます。

※

「私の意見」を

参照してください

担当

市民参画部次長 高井

電話 058-265-4141 内線 5380

ぎふメディアコスモス事業課長 石原

電話 058-265-4101 (直通)